

障が無いよう、また、今後のワクチン供給の見通しについて、徹底した情報公開を行うよう国に要請すべきでは。

- △ 国においては、6月21日からの2週間で16,000箱を各自治体へ供給していたが、8月2日からの2週間では10,000箱に減らす見通しを示している。また、ワクチンの在庫が多い自治体に対しては、供給量をさらに1割削減する旨公表されている。これに対し7月11日に開催された全国知事会では、自治体が希望する量のワクチンを必要な時期に確実に供給すること、供給スケジュールや分配量を速やかに示すことなどを求める緊急提言をまとめ、国に提出されると伺っている。ワクチンの安定供給があって初めて接種を計画的に遂行できることから、本市としても具体的な配分時期、分配量及び接種の実施に必要な情報について、可能な限り迅速に提供いただけるよう国に要望したい。
- 本市において、ワクチン供給に対する不都合はないと理解してよいのか。
- △ 全国的には供給量が少ない状況にあるが、本市では、供給量に応じた接種ができている状況にある。6月21日の週から2週間で24箱が供給され、8月2日からの2週間では17箱が供給される予定である。

【富山市での集団食中毒問題について】

- 富山市での集団食中毒問題を踏まえて、保育所給食における食中毒の予防や衛生管理のための強化策は。
- △ 日ごろから県高岡厚生センターの食品衛生監視指導に子ども・子育て課の保育士、栄養士が同行し、給食室内の調理作業や食品の取り扱い、給食施設の機器や器具の適切な配置、衛生環境についての指導を実施するなど、安全安心な給食の提供に努めている。今回、さらなる対応策として、市内すべての保育所・認定こども園の給食従事者を対象に衛生管理の徹底や衛生意識の向上を図るための市主催の衛生管理講習会を令和3年8月20日に実施する予定である。また、業者に対する指導については、現場からの情報を元にその都度、書面指導や対面指導を行い、業務の改善を徹底しているが、今回は、富山市の件を踏まえ、子ども・子育て課の栄養士が市内の保育所、認定こども園に納入されている牛乳の加工業者の工場視察を実施し、生乳の殺菌手順、各種器具の清掃方法、書類の記録等を確認し、衛生管理の徹底を図ったところである。そのほか、公私立保育園の園長及び調理員の代表で構成する給食委員会を毎月開催し、保育園や認定こども園の給食で使用する良質な給食物資を選定し、品質管理の徹底を図っている。今後ともこれらの取り組みを継続するとともに、保育園給食に係る各種マニュアルの遵守を徹底することにより、衛生管理、異物混入防止、食物アレルギー対応などの安全性確保に努めたい。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

